編輯室内外

天長節の佳節に當り、三十七歳の理學博士湯川秀樹氏を初め七氏に文化勳章が賜授せられた。受章者七氏の感激は言ふも更なり。一億國民の等しく慶祝に堪へざる所である。由來戰爭は文化の破壞であるといはれてゐるが、現代の戰爭は國民の總力戰である。即ち頭腦の戰爭、精神の戰爭、思想の戰爭、經濟の戰爭、科學の戰爭であつて單なる武力のみの戰爭ではない。此秋强靱なる意思、高貴なる精神、忍耐强き粘を以て我が文化に幾多の業績を貢獻せられたる文化人に勳章が賜授せられたる意義深き聖旨の程には誠に恐惶感激に堪へざる所である。更らに一般國民も日本文化の向上發展に精進しなければならぬ次第である。

○

日獨伊相結んで米英の憎むべき覇道を打倒し、世界新秩序を打ち樹てんとする聖戰に呼應して日伊學界を固く結ぶ聖德太子十七條憲法のイタリー語譯の大事業が目下着々とすゝめられ、今や其の試譯を完成し明年末には該論文を附して盟邦イタリーへ送らるることとなつた。此は京大總長羽田亨博士を會長とし、編纂監修には京大名譽敎授新村出博士を、委員に京大池田榮博士、同講師黑田正利氏を、顧問には法隆寺貫主佐伯定胤師、東方文化硏究所長松本文三郎博士、狩野直喜博士、姉崎正治博士、西田直二郎博士、小野清一博士を推し、黑田正利氏を中心とし京大講師マライーニ氏、佛敎學專攻のベンチヴェン氏が協力してゐる。諸種の困難を克服して此偉業を完遂するは其の勞苦少しとせずである。

○

企業整備には復舊還元の思惑といふ癌がある。それがあつては東亞共榮圈の基礎は確立しない。物動計畫、交易計畫、消費規正、物價調節、金融整備等萬般の經濟統制は更らに强化さるるであらうが、それには復舊還元といふ癌があつてはならぬ。企業整備をするには此點を更に明かにし、一般の謬想を根絶しなければならぬと論ずるは非か。

○

昭和十七年度國民貯蓄目標額二百三十億圓は實際に於ては二百三十四億五千七百萬圓に達したのである。之を同十六年度末の二百十七億圓に比し將に十七億五千七百萬圓の增加である。卽ち郵便貯金三十三億五千二百萬圓、簡易保險積立金五億三千八百萬圓、郵便年金積立金二億九千二百萬圓、銀行預金九十二億千三百萬圓、信用組合貯金二十三億六百萬圓、信託五億四千七百萬圓、保險會社資金十二億六千五百萬圓、無盡會社資金二億二千二百萬圓、直接證券投資五十七億二千二百萬圓、合計二百三十四億五千七百萬圓となつた。國民の報國精神の昂揚に基くものがあるが、貯蓄の熱意は强し。十八年度の二百七十億圓を突破すること確かである。

○

去る一月十七日實施された煙草値上げに依りて全國約十八萬の煙草店が手持煙草につき値上げ當日に擧げ得たる新舊定價の差額利益總計六百九十七萬六千八百二十三圓は、其の筋の勸奬により陸海軍へ獻金することとなつた。寔に奇特のことぢや。輪に吹く煙も夢おろそかにはならぬと感じた。

○

滿鐵に於ては決戰業務の簡捷化へと企畫統制力を强張し中樞機構を新京に移轉し、總裁室總局を廢して企畫局の設置を見た。重役幹部の陣頭主義等自覺に基いての劃期的大改革であるだけ今後の活躍振が注目さるる譯である。

○

商工經濟會法（昭和八年三月法第五二號）の實施も切迫したと考へらるるが、會員は商工會議所のそれとは異なつて一定の業者の外に種々な組合、營團、金庫、其の他經濟團體等が構成員となり、會頭は知事の推薦により商工大臣が任命し、副會頭、理事長或は理事は會頭が任命する。會頭統裁主義に則つるもので、ドイツに於ける經濟會議所と其の軌を一にするものである。戰時下大東亞共榮圈建設に卽した日本の經濟團體としての活躍を切望してやまないものである。（一八、五、一五、洮）

〔停〕
定價一部　金五十錢
一ケ年分　金六圓

東京市麴町區霞關一丁目内務省内
發行所　社團法人　道路改良會
電話銀座(57)〇四二七
振替口座番號東京一九〇二六

東京市赤坂區氷川町一七
發行者
編輯者　平井良成

東京市小石川區諏訪町五六
印刷所（東東三一〇）　株式會社　常磐印刷所
印刷者　奈良直一

日本出版會會員番號二二〇〇四五